

全労金2018春季生活闘争ニュース・第5号

東北・九州労組の要求概要と

交渉担当者の決意を紹介します！

◎東北労組の要求概要

		東北労組（金庫）				東北労組（関連）					
		正職員	契約職員			個別 契約職員	正社員	契約 社員	ビル管理 社員	代理店 契約社員	再雇用 嘱託社員
			S	PCA	J						
安定雇用	無期転換	-	(実現)			(実現)	-	(実現)			-
	登用制度		(実現)			(実現)		(制度はないが実績あり)			
最低賃金		時間額970円、日額7,120円 月額149,400円への引き上げ				-					
基本賃金	定期昇給 の実施	定期昇給の実施			定期昇給 の実施	定期昇給 の実施	定期昇給の実施			定期昇給 の実施	
一時金	4.5	4.5	2.7~3.6	1.0	契約職員と 同月数	4.0	1.0~3.6			-	
昨年実績	4.5	4.5	1.7~2.6 +20,000	40,000 +20,000	1.3	3.8	40,000~2.6 (※代理店契約職員+20,000)			-	
雇用環境	ジョブ・リターン	継続協議中				-					
	年休積立	(実現)				金庫正職員と同様					
	私傷病休職	-	(実現)			(実現)	人事賃金制度と併せて、協議で解決				
公正処遇	年休	-	(実現)			(実現)	(実現)			-	
	生休		(実現)			人事賃金制度と併せて、協議で解決				-	
	母性保護		(実現)			人事賃金制度と併せて、協議で解決				-	
単組独自要求		-				福利厚生補助金の増額 配偶者出産休暇					

《東北労組・綿 祐次郎書記長の決意》

東北労組は、3月1日に第79回中央委員会を開催し、満場一致で2018春闘方針を確認しました。2018春闘では、最低賃金の引き上げ、正職員の一時金の前年実績確保、嘱託等職員の一時金の改善を要求し、闘います。東北労組は、この間の人事制度見直し協議により、2018年度の正職員初任賃金の引き上げと、嘱託等職員の基本賃金引き上げを確認しました。また、関連会社とも人事制度協議を進め、2018年度の基本賃金引き上げや賃金表の策定を確認しています。

しかしながら、「公正処遇」が果たされたとは判断しておらず、引き続き「底上げ・底支え」「公正処遇」実現に向け闘いを継続します。金融機関を取り巻く環境から、金庫は経営状況の厳しさを主張し、厳しい闘いになることが想定されますが、「統一闘争」のもと闘いを力強く進めるとともに、全組合員の総意で確立した要求に誇りを持ち、最後まで闘い抜きます。

共に頑張りましょう！



《東北労組・団体交渉の様子》



《東北労組・交渉メンバー》



《東北労組・闘争委員会》



《東北労組・要求書提出》

◎九州労組の要求概要

		九州労組（金庫）				九州労組（関連）			
		正職員	準職員	パート 職員	アシスタ ント 職員	正社員	嘱託社員	再雇用 嘱託社員	
安定雇用	無期転換	—	(実現)				—	(実現)	—
	登用制度		(実現)					(実現)	
最低賃金		時間額1,000円、日額7,330円、 月額154,000円への引き上げ				金庫と同様			
基本賃金		月額5,800円 の引き上げ	月額7,800円 の引き上げ	月額7,500円 の引き上げ		月額7,700円 の引き上げ		賃金表 の改定	
一時金		4.3	3.5	3.0	3.0	3.9	2.5	—	
昨年実績		4.3	3.1	2.4	2.4	3.9	2.3	—	
雇用環境	ジョブリターン	制度の新設				—			
	年休積立	(実現)				(実現)			
	私傷病休職	—	(実現)				(実現)		
公正処遇	年休	—	(実現)	(実現)	正職員と同様	正職員と同様			
	生休		(実現)	正職員と同様		正職員と同様			
	母性保護		(実現)	正職員と同様		正職員と同様			
単組独自要求		—	永年勤続表彰制度			永年勤続表彰制度		—	

《九州労組・藤原はるみ副委員長の決意》

全国の仲間の皆さん、いよいよ2018春季生活闘争が始まりました！九州労組では、これまでの運動の継承や、連合・全労金方針の具現化を図る観点から「底上げ・底支え」「公正処遇・均等待遇」の実現を第一義とし、九州労働金庫・九州ろうきんサービスで働くすべての仲間のさらなる生活改善を実現する考えです。

今春季生活闘争では、職員も含めた基本賃金の改善要求を掲げています。九州労働金庫発足以降、春季生活闘争を通じた基本賃金の改善は実現していませんが、今春季生活闘争における要求項目は、九州労働金庫の職場で働くすべての組合員の切実な思いであり、必ず実現しなければなりません。全国の労働金庫を取り巻く環境が厳しいことは、十分に認識していますが、今こそ全国に集う仲間と連携し、要求獲得に向け、九州労組の全組合員の総力を挙げて最後の最後まで拘りを持ち、闘いを進める決意です。

共に頑張りましょう！



《九州労組・団体交渉（金庫）の様子》



《九州労組・交渉メンバー》



《九州労組・団体交渉（関連）の様子》



《九州労組・藤原副委員長》

※ 次号は3月9日（金）に配信予定です。

以 上